

事前評価個表

整理番号	10
------	----

地域（地区）名	<small>ふじかわじょうりゅう</small> 富士川上流	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	山梨県	対象市町村	<small>こうふし</small> 甲府市ほか8市
事業実施期間	H29 ~ H33（5年間）	事業実施主体	県、市、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、山梨県の中西部に位置し、北部から西部は埼玉県及び長野県、東部は山梨県東部地区、南部は富士川中流地区に接する甲府市ほか8市からなっている。森林面積は148千ha（森林率71%）、対象民有林は139千ha（森林全体の94%）、うち人工林は53千ha（人工林率38%）となっており、人工林は主にカラマツ、ヒノキ及びアカマツにより構成されている。</p> <p>本地区の民有林人工林はⅩⅡ齢級以下の森林が85%を占めており、間伐等の保育施策が必要な状況にあるが、所有者不明森林が多いため施策集約化が進んでいないことのほか、森林所有者の高齢化や世代交代に伴う自己所有森林への関心の薄れ等により、必要な施策の遅れが生じている。</p> <p>このため、本事業により、本地区内の小規模林地を面的にとりまとめる施策集約化と効率的な路網整備を一層推進し、適切な森林整備により水源涵養機能や山地災害防止機能等、森林の持つ公益的機能を向上させるとともに、間伐材等森林資源の有効活用を進める。</p> <p>具体的には、本事業では効率的な施策に不可欠な路網整備と搬出間伐や再造林等の森林整備を一体的・計画的に実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：4,716ha 人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、間伐、更新伐等</p> <p>路網整備：18,739m 林業専用道</p> <p>総事業費：3,353,719千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 2.33 (総便益(B) = 11,164,458千円、総費用(C) = 4,784,292千円)</p>
評価結果	<p>必要性：森林の公益的機能の発揮及び県産材の安定供給を図るため、事業の実施が必要である。</p> <p>効率性：費用対効果分析結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：間伐が遅れた林分の解消や資源として利用可能な経済林の適正な整備は公益的機能の発揮と県産材の安定供給が図られ、山村経済の振興にも有効である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：山梨県

地域(地区)名：富士川上流ふじかわじょうりゅう

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益 <small>かん</small>	洪水防止便益	2,088,448	
	流域貯水便益	537,964	
	水質浄化便益	1,245,763	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,987,032	
環境保全便益	炭素固定便益	1,693,981	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	33,919	
	木材利用増進便益	7,941	
	木材生産確保・増進便益	99,050	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	1,739	
	治山経費縮減便益	69,012	
	森林管理等経費縮減便益	125,721	
	森林整備促進便益	1,737,199	
災害等軽減便益	防火帯便益	536,689	
総 便 益 (B)		11,164,458	
総 費 用 (C)		4,784,292	
費用便益比	$B \div C = \frac{11,164,458}{4,784,292} = 2.33$		

森林環境保全整備事業 富士川上流地区（山梨県）

